



「騰雲颯颯」1969年 現代書道二十人展出品作(全期展示)

徳島県立文学書道館 書道特別展

受記 贈念

# 青山杉雨展

2024年 6月14日(金)～8月4日(日)

1期 6月14日(金)～7月7日(日)

2期 7月10日(水)～8月4日(日)

〈会場〉 1階 特別展示室、3階 書道美術常設展示室

〈開館時間〉 9:30～17:00

〈休館日〉 月曜日(ただし7月15日は開館、翌16日休館)

〈主催〉 徳島県立文学書道館

〈後援〉 徳島県教育委員会 徳島新聞社 四国放送 NHK徳島放送局

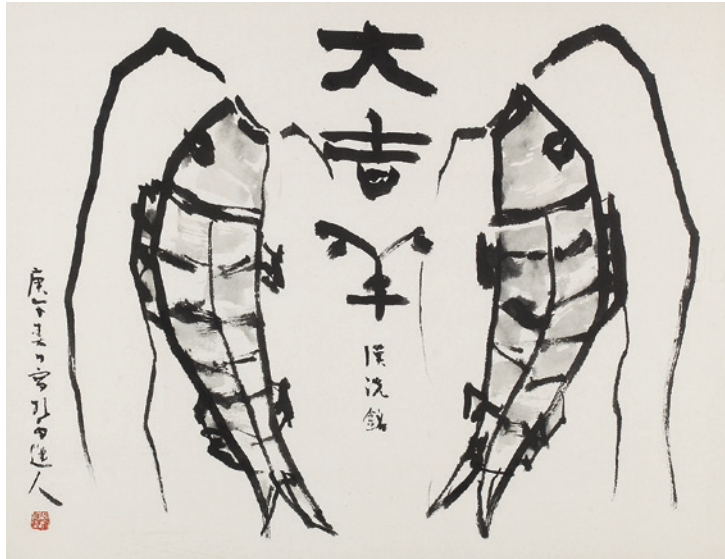
〈観覧料〉 一般520円(410円)／高校・大学生360円(290円)／  
小・中学生260円(200円)

※( )内は20人以上の団体割引料金。

小・中・高校生は、土・日・祝日・夏休み期間中は無料。

高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。



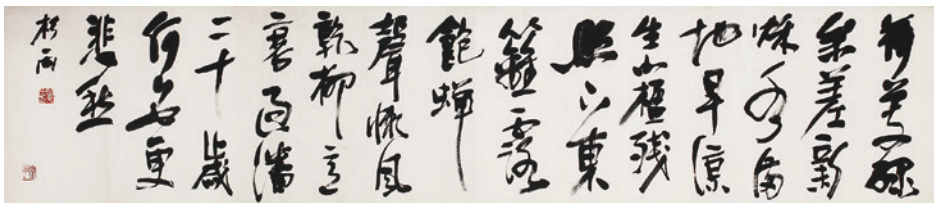


「大吉祥」(全期展示)

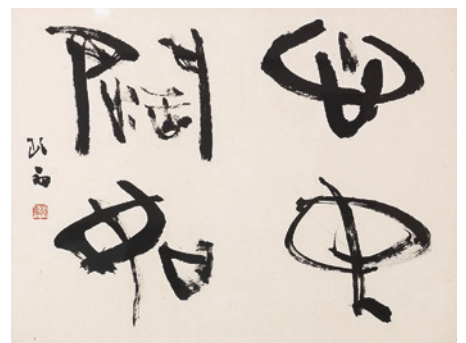
文化勲章の受章書家・青山杉雨は、戦後の書のリーダーとして書壇を牽引しました。「一作一面貌」と評される、一作ごとに表情の異なる作品は、どれもが実証的な書学と理論に基づくもので、中国古代文字を素材とした篆隸、明清時代の書風を基盤にした行草など、独自のスタイル、多様な表現で高い評価を受けています。

今回の特別展では、2022年度に当館へ寄贈された、青山杉雨の作品101点を2期に分けて初公開します(全期展示は25点)。代表作の「騰雲颺」などの漢字作品を中心に、仮名や絵画作品なども紹介します。

## 作品101点を初公開



「白楽天詩」(1期展示)



「心中闢如」(2期展示)



あおやま さんう  
青山 杉雨 (1912-93年)

愛知県生まれ。名は文雄。18歳の頃、義兄にあたる大池晴嵐より書の手ほどきを受け、30歳から西川寧に師事。若くして泰東書道院展で最高賞を受賞し、注目を集めた。

1961年、謙慎書道会初代理事長に就任。63年、日展文部大臣賞。66年、日本芸術院賞。92年、文化勲章受章。文化功労者。日本芸術院会員。日展常務理事。西泠印社名誉顧問。「書道グラフ」主筆。著書に『明清書道図説』『文字性霊』など。



「奇筆亂道」(全期展示)

### 関連イベント

- 講演会「青山杉雨 書の変遷」  
講師 高木聖雨(書家、日本芸術院会員)  
日時 6月16日(日)14:00~15:30  
会場 1階 ギャラリー  
定員 150人(申込多数の場合は抽選)  
\* 申込必要(締切6月2日) 参加無料

- 展示解説  
講師 佐藤美和(当館専門職員)  
日時 ①6月22日(土) ②7月15日(月・祝)  
各11:00~11:30  
\* 申込不要 観覧券必要

※講演会の申込方法  
はがき、FAX、メールのいずれかに「青山杉雨展 講演会」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、当館までお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

### 交通アクセス(JR徳島駅から)

#### 徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

#### バス

[徳島市営バス]7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乘車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。  
[徳島バス]15番乗り場「前川経由」に乘車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。

#### タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。

#### 駐車場

当館北側・南側にあります(62台、大型バス2台)。

